

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年 5月25日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社石川組
所在地	〒231-0801 神奈川県横浜市中区新山下3丁目13番14号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 石川 健
担当者連絡先	電話：045-623-8851
	メール：d_takeda@ishikawa-gumi.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.ishikawa-gumi.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は1912年(明治45年)に創業し一般港湾運送事業、通関業、倉庫業・国内・海外見本市業を営んでおります。 国際貨物の輸送輸出入に伴う通関他一切の業務をトータルに提供する一貫体制さらに各種見本市や国際複合一貫輸送の分野で実績があります。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	環境にやさしい設備の導入。	LED照明の比率を高める。 (比率目標：100%) 業務車にエコカーを導入する。 (比率目標：50%)
□環境 ✓社会 ✓経済	働きやすい職場環境を整備。 従業員の雇用安定を確保。 法令遵守の徹底。	ハラスメント研修を実施する。 (目標：年1回の開催)
□環境 □社会 □経済		

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記している。管理部に相談窓口を設置している。				5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる									8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	Gマーク認定を取得している。月に1度、安全衛生委員会と構内パトロール開催している。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	心理相談員設置、ストレスチェック実施			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	在宅勤務をとられるなど幅広い人材が活躍できる職場環境を整備している。				5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	階層別研修の実施(2期実施)			4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる				3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	公益社団法人交通エコロジーモビリティ財団よりグリーン経営認証を取得している										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	船輸送を多用し、一度の輸送量を増やし、陸送によるCO2排出量を削減している								7.2 7.3				12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6									15			
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	雨水を貯水し、洗車に利用している					6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9		6	7				12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	横浜物流センターE棟屋上にソーラーパネル設置している						7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9								12.4						
	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	大型貨物を運搬する際の保護枠を木材からスチールに切り替え、森林材の保護に寄与するほか、スチールの端材は100%リサイクルにまわすため、廃棄物の削減にも有益。						6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4						9	11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	本社工場周辺の地域清掃(月1回)				4						11			14	15		17	
	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9		11	12	13				

